令和　　年度

種 類 別 明 細 書(全資産用・プレ申告用)

記入例

帳票識別コード	
申告区分	□当初申告 ・ □修正申告
処理方式	□一般処理 ・ □電算処理
申告書等送付番号	

所有者名	1 枚のうち
株式会社 ○○	1 枚 目

行番号	異動区分 (注1)	資産の種類 (注2)	物件番号	資産の名称等	数量	取得年月 (注3) 年号	年	月	元日取得 (注4)	取得価額 (注5) (イ) 十億 百万 千 円	耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ) 十億 百万 千 円	※課税標準の特例 率	※課税標準の特例 コード	※課税標準額 十億 百万 千 円	増減事由 (注6)	摘要
01		1		コンクリートブロック塀	1	4	21	5		650 000	15	0.						
02		1		受変電設備	1	4	21	7		3 000 000	15	0.						
03	2	1		~~ゴミ置き場~~	~~1~~	~~4~~	~~15~~	~~3~~		~~1 000 000~~	~~7~~	0.					4	廃棄
04		2		ワイヤー放電加工機	1	5	6	10		6 830 000	8	0.						
05		6		複写機	1	5	3	4		650 000	7	0.						
06		6		ルームエアコン	1	5	4	2		250 000	6	0.						
07		6		応接セット	1	5	4	3		300 000	8	0.						
08	1	1		外構工事	1	5	8	5		1 000 000	15	0.					1	
09	1	2		太陽光発電設備	1	5	8	6		4 300 000	17	0.					1	
10	1	6		パソコン	1	5	9	1	1	50 000	4	0.					1	
11												0.						
12												0.						
13												0.						
14												0.						
15												0.						
16												0.						
17												0.						
18												0.						
19												0.						
20												0.						
				小 計														

異動区分欄に２を記入した増減資産について、増減事由を記入してください。
新品取得→１　中古品取得→２
売却→３　滅失→４　移動→５
その他→６（摘要欄に事由を記入してください。）

減少資産
減少した資産があれば、二重線を引き、増減事由に該当事由、摘要欄に事由を記載してください。
一部減少した資産は、数量、取得価額などを変更して記入してください。

増加資産
増加資産がある場合は、新たに記載してください。

異動のあった資産の行に必ず記入してください。
増加→１
減少→２
訂正→３

資産の種類を
１　構築物
２　機械及び装置
３　船舶
４　航空機
５　車両及び運搬具
６　工具、器具及び備品
から選択して記入してください。

元日取得
元日（1月1日）に取得の場合は「1」を記入してください。

注意1　「異動区分」の欄は、1 増加、2減少 、3訂正 のいずれかの数字をご記載ください。
注意2　「資産の種類」の欄は、1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具 6 工具、器具及び備品 のいずれかの数字をご記載ください。
注意3　「取得年月」の欄は、3 昭和 4 平成 5 令和 のいずれかの数字をご記載ください。
注意4　「元日取得」の欄は、元日（1月1日）に取得した場合には1をご記載ください。
注意5　「処理方式」が「一般処理」の場合、「異動区分」が2減少の資産について、「(イ)取得価額」は減少後の「取得価額」((例)全部減少の場合は「0」が入ります)をご記載ください。
注意6　「増減事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 売却、4滅失、5移動、6その他 のいずれかの数字をご記載ください。